

アラン・ムニエ

Duo

with 川井綾子



ベートーヴェン

Ludwig van Beethoven

モーツァルト「魔笛」の主題による7つの変奏曲
7 Variationen über "Bei Männern, welche Liebe fühlen"
aus Mozarts Oper "Die Zauberflöte" WoO 46

フォーレ

Gabriel Fauré

チェロとピアノのためのソナタ 第2番 ト短調 op.117
Sonate pour violoncelle et Piano n° 2 en sol mineur op. 117

ベートーヴェン

Ludwig van Beethoven

チェロとピアノのためのソナタ 第3番 イ長調 op.69
Sonate für Klavier und Violoncello Nr. 3 A-Dur op.69

2023

5月13日(土)

開演 3:00 開場 2:30

Solo

—音楽とお話し—

J.S.バッハ

Johann Sebastian Bach

無伴奏チェロ組曲 第3番 ハ長調
Suite für Violoncello solo Nr.3 C-Dur BWV1009

無伴奏チェロ組曲 第2番 ニ短調
Suite für Violoncello solo Nr.2 d-Moll BWV1008

無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調
Suite für Violoncello solo Nr1 G-Dur BWV1007

♣ チェロとバッハの組曲にまつわるお話し
通訳：川井綾子



2023

5月14日(日)

開演 3:00 開場 2:30

ヒルサイドプラザ

代官山ヒルサイドテラス内
渋谷区猿楽町29-10 (入口は駐車場奥)
☎ 03-5489-3705

- ・東急東横線「代官山」駅より徒歩5分
- ・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅より徒歩7分
- ・JR山手線・埼京線「恵比寿」駅より徒歩10分



各 4000 円(全自由席)
通し券 7000 円(取扱い スピカのみ)

[チケット取扱い]

e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>
チケットぴあ pコード 238447 (13日 Duo)
238569 (14日 Solo)

[お問合せ/チケット取扱い]

スピカ ☎03-3978-6548

✉ spica@sepia.ocn.ne.jp

アラン・ムニエ Alain Meunier (チェロ)



1942年、パリに生まれる。7歳からチェロを始め、13歳でパリ国立高等音楽院に入学、15歳で室内楽のプリミエ・プリ(最高位)、16歳でチェロのプリミエ・プリを獲得するなど、早くから才能を開花させる。

18歳で突如、演奏活動を停止し、音楽美学や音楽学などを学ぶ。その後、22歳で再びチェロを手にし、決意も新たにイタリア・シエナのキジアーナ音楽院に入学し、再びチェロと室内楽の研鑽を積む。

同音楽院卒業後、「ピアノ・クインテット・キジアーナ」のメンバーとして活動を開始して以来、ソリスト並びに室内楽奏者として世界各地で演奏活動を展開する。

リヨン国立高等音楽院、パリ国立高等音楽院の教授を歴任。また、ボルドー国際弦楽四重奏コンクールの実行委員長、ナポリ音楽フェスティバルの音楽監督、日本で開催されたカサド・コンクール審査員長をはじめ多くの国際コンクールの審査員を務め、音楽家からの信望も厚い。

室内楽とソロのCDが数多くリリースされ、いずれも高く評価されている。

現在、演奏活動に加え、イモラ・アカデミー(イタリア)での指導、オーブラック音楽祭主催など活発な活動を展開している。

川井 綾子 Ayako Kawai (ピアノ)

4歳よりピアノを始める。全日本学生音楽コンクール高校の部全国1位。桐朋学園大学を経てパリ・エコール・ノルマル音楽院最高演奏家課程を首席で卒業。サレルノ国際ピアノコンクール最高位、マリア・カナルス国際コンクール最高位とローレックス賞など受賞多数。パリ・ショパン協会主催“フェスティバル・ショパン”出演など、ヨーロッパ各地でリサイタル、コンチェルトを行う。

帰国後は、フェリス女学院大学、愛知県立芸術大学で後進の指導にあたる傍ら、新星日本交響楽団、九州交響楽団、神奈川フィルなどのオーケストラとの共演や、横浜市招待国際ピアノ演奏会、ショパン協会リサイタル、NHK-FMへの出演、また「公共ホール活性化事業」やスタインウェイ・ジャパンの登録アーティストとして、各地でトークコンサート、レッスン、コンクールの審査も行っている。リリースした2枚のCDは共にレコード芸術誌において高評価を得、「Fantasy」のバッハは2020年7月号で、「ウィーンをめぐる物語」のシューマンは2023年3月号で、同誌の連載「名曲解体新書」で「わが国が誇るべき名演奏」として邦人代表盤に選ばれた。



スピカはおとめ座の一等星、ラテン語で“麦の穂”を意味します。

‘気軽に足を運び、心から楽しめるコンサート’を目指し、スピカは1990年に手作りコンサート活動をスタートしました。

踏まれても踏まれても伸びていく麦、
頭を垂れずまっすぐに天に向かって伸びていく麦の穂のようでありたいと願っています。